

# 乳がん・子宮がん検診を受けましょう！

文=山田 朋枝(保健師)

**が**んの多くは高齢になるほど発症リスクが高まるため、若い方にはあまり関係のない病気だと思われがちですが、「乳がん」「子宮がん」は20〜40歳代で発症するケースが近年急増しています。

**「乳がんは」**  
**女性がかかる最多のがん**

乳房の中にある乳腺(母乳をつくるところ)に悪性の腫瘍ができるものを乳がんといえます。女性がかかるがんの中で最も多いのが乳がんで、特に40歳代後半に多く発症しています。乳がんの自覚症状としては、がんが5ミリ〜1センチくらい大きくなると、しこりとして触れることがあります。その他、乳頭からの異常分泌(血性のもなど)、乳頭や乳輪のただれ、えくぼの様なくぼみや乳房付近のリンパ節の腫れなどの症状がみられます。

## 低年齢化が進む「子宮がん」

子宮がんには、子宮の入り口である子宮頸部(子宮頸)にできる「子宮頸がん」と、子宮の奥にある子宮体部にできる「子宮体がん」があります。「子宮頸がん」は20〜30歳代の若年層で増加傾向にあり、乳がんが続いて2番目に多く女性がかかるがんとなっています。一方、「子宮体がん」は40歳代以降、閉経前後に多くみられますが、最近では30歳代での発症も増えており、出産経験がないことや閉経年齢が遅いことなどが影響していると考えられています。

子宮頸がんや子宮体がんも、初期にはほとんど自覚症状がありません。進行してくると不正出血やおりものの異常、下腹部痛などがみられるようになります。

## 「乳がん」「子宮がん」は早期発見が重要です！

「乳がん」は早くに見つけて治療すれば、より高い確率で治すことができます。乳房を温存しながら、わずかの切除手術でがんを取り除くことも可能です。また、初期の「子宮がん」の症状はほとんどなく、自覚症状が現れる頃には病状が進行していること

が少なくありませんが、子宮がん検診を受けることで、がんになる前の正常ではない細胞の段階で発見することも可能です。

## 婦人科検診を受けましょう！

婦人科検診日程

- 5月19・20・21日(金〜日)
- ※申込締切 4月21日
- 10月15・16日(日・月)

町では今年度、右の日程で婦人科検診(乳がん・子宮がん・骨粗しょう症)をすこやか健康センターで行います。今回から乳がん検診は視触診がなくなり、マンモグラフィー検査のみとなります。また、定員数も大幅に増え、より多くの方が受けられるようになります。さらに、今回から骨粗しょう症検診は料金1000円から500円に変わり利用しやすくなっています。

※29年度から、年齢によって骨粗しょう症検診を無料で受けることができます。対象の年齢等詳しくは、すこやか健康センターへお問い合わせください。

## ▼離島の方へは助成があります

天売・焼尻に在住の方が婦人科検診を受ける場合、その時に利用したフェリーの代金(往復全額と、宿泊費の一部)上限5千

円の2分の1)を助成します。詳しくは、お問い合わせください。

## ▼がん検診無料対象者

次の方は無料で乳がん・子宮頸がん検診を受けられます。

年齢	生年月日	対象検診
20~21歳	H 7.4.2 ~ H 9.4.1	子宮頸がん
25~26歳	H 2.4.2 ~ H 4.4.1	
30~31歳	S 60.4.2 ~ S 62.4.1	
35~36歳	S 55.4.2 ~ S 57.4.1	
40~41歳	S 50.4.2 ~ S 52.4.1	子宮頸がん 乳がん
45~46歳	S 45.4.2 ~ S 47.4.1	
50~51歳	S 40.4.2 ~ S 42.4.1	
55~56歳	S 35.4.2 ~ S 37.4.1	
60~61歳	S 30.4.2 ~ S 32.4.1	
65~66歳	S 25.4.2 ~ S 27.4.1	

※2年に一度の受診となりますので、乳がん、子宮頸がん検診を昨年受けた方は受けられません。

また、無料対象者は、「子宮頸がん検診」について、道立羽幌病院で個別検診が受けられます。毎週火曜日に受診できますので、希望者は、直接道立羽幌病院へお申し込みください。

※昨年まで実施していた乳がんの個別検診は29年度は中止となっています。

## ☎お問い合わせ

すこやか健康センター内  
健康支援課保健係

☎ 62・6020

※検診のお申し込みは、役場窓口、天売焼尻支所でもできます。